

「認知症は発症前の早期対応がとても大切です。
今の状態を知り、将来に備えませんか。」

認知症予防検査オプション①

※表示金額は全て税込

血液検査で悪玉アミロイドチェック 25,300 円

目的

アルツハイマー型認知症の発症の原因といわれている「血管の老化」と「アミロイドβの蓄積」に関するタンパク質の血中量を測定し、将来の認知症の発症リスクを評価します。

検査方法

採血：「MCI（軽度認知障害）スクリーニング検査」



注意事項

すでに認知症と診断されている方はお受けいただけません。
以下の疾患は、判定に影響する可能性があります。
（自己免疫性疾患、急性炎症、肝硬変、先天的に脂質異常がある方）

ゲームで認知機能チェック 3,300 円（病院） 2,200 円（自宅）

目的

脳の健康度セルフチェックツールの「のう KNOW」を使い、ゲーム感覚のチェックを行います。
「集中カスコア」「記憶カスコア」「脳年齢」を数値で知ることができます。

検査方法

タブレット端末またはスマートフォンを使用して、脳の健康度をチェックします。所要時間は約 15 分で、自宅でも実施できます。

認知症予防検査オプション②

※表示金額は全て税込

MRI から AI で将来予測

45,100 円（脳ドック込）

目的

頭部 MRI の AI 画像解析により、認知症発症等の脳疾患リスクに関連するとされる「脳全体の萎縮度」「白質病変体積」を数値化します。さらに、年代別の平均値に基づき脳の健康度を評価します。

検査方法

脳ドックを受けていただき、撮影された MRI 画像を AI 解析します。併せて「ゲームで認知機能チェック」を実施します。「ゲームで認知機能チェック」の内容については裏面をご覧ください。

注意事項

すでに認知症と診断されている方はお受けいただけません。

PET/CT で脳の悪玉アミロイド蓄積度チェック 275,000 円

*脳ドックを受けていただいた方のオプション検査です。脳ドックの結果で「PET/CT で脳の悪玉アミロイド蓄積度チェック」は受けられない場合があります。

目的

認知症の約6割を占めるアルツハイマー病の原因となっているアミロイドβプラークを画像的に映しだすことができる検査です。

検査方法

検査は、放射性同位元素（F-18）で標識したフルルベタピルという検査薬を注射して50分後に頭部の検査をします。（約20分の撮影）



注意事項

検査は、放射線を使う検査であるため、約10mSvの被ばく量があります。これにより放射線障害が起きることはありません。ただし、妊娠されている方や小児が近くにいらっしゃる場合は、検査当日はなるべく距離をとっていただくことをご了承ください。